

昭2・4

昭3・1

昭3・7

二、花咲く野辺にまじりては
 小鳥と共に唄うなり
 みそらは高しかりのねに
 千草にねむる秋のてふ
 健児が胸は血を叫ぶ
 いざやためさんグラランドに

校歌

大正十二年頃三重野ヨリさん（現黒松二宮ヨリ）が高等科二年の時に作詩。羽
 田野到先生補作・阿南喜誉美先生曲。

一、われらが学ぶ学び舎の
 北にそびゆる水の元
 弘法大師の古跡にて
 その名も高き靈山ぞ

二、村の東を流るるは
 柴北川の清流ぞ
 千代もつきせぬ清き水
 あな尊しや山と川

三、思えば春の桜花
 紅葉色どる秋景色
 わが長谷の誇りにて
 山水明媚の理想郷

ようやく改築校舎の入札・起工式の運びとなる。落札者は別府市後藤々三郎（請負金額三八、八〇〇円）
 工事中危険の恐れありとして、四月二八日より松巖寺川原のバラック校舎に移転。
 多年の念願であつた新校舎が落成。仮校舎からこれに移転。

水槽完成する。
 体育器械を完備。

▼昭和3年1月新校舎が落成
 （まだ桜は植えられてない）



▼昭和2年 松巖寺川原の仮校舎

